－都市樹木研究室－
街の樹木 News Letter

VOL.12　9月号
発行元：株式会社エコル
東京都港区高輪 3-4-1 高輪偕成ビル 8F
TEL:03-5791-2901 / FAX:03-5791-2902

都市樹木研究室
HP はこちら

なぜ樹木の移植は失敗するのか

－転ばぬ先の移植適性度診断－

費用や時間をかけて移植した樹木が枯死したり長期間樹勢不良が続き見苦しい状態となることは緑地管理者として避けたいことです。

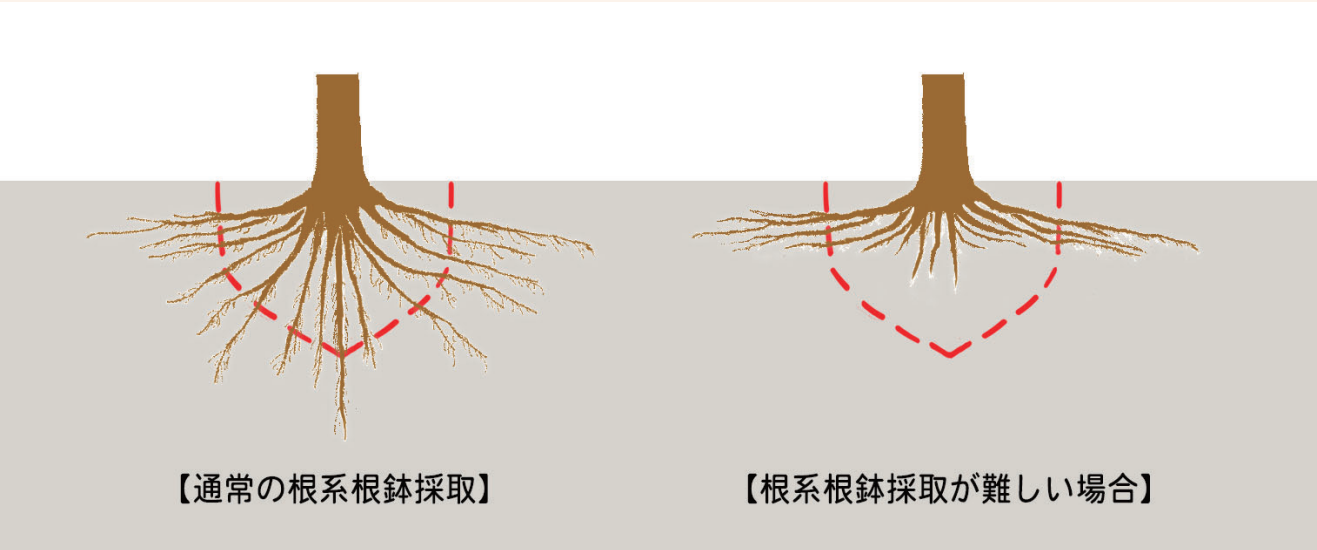
天然記念物のようなどうしても保存する必要がある樹木を除き通常の移植方法で移植を成功させるための方法を説明するために、まず移植がなぜ失敗するかをご説明します。

【費用をかけた移植木が樹勢不良となり枯死】

失敗原因　その１

移植工事施工時に既存根系の十分な確保が出来ない場合

移植工事施工時には、根鉢と呼ばれる樹木の根系と土が一体となった状態をそのまま移植先に移動します。この根鉢の中に十分な根系量がないと、移植先で水分を吸い上げる能力が下がり樹勢不良となりやがて枯死します。一方樹木の根系は、それぞれの土壌条件や環境条件に合わせて様々な形態で生育します。植栽基盤が硬く根が深く生育できない場合などは浅く広く根系が分布します。このような根系では根鉢に十分な根系を確保することが困難です。

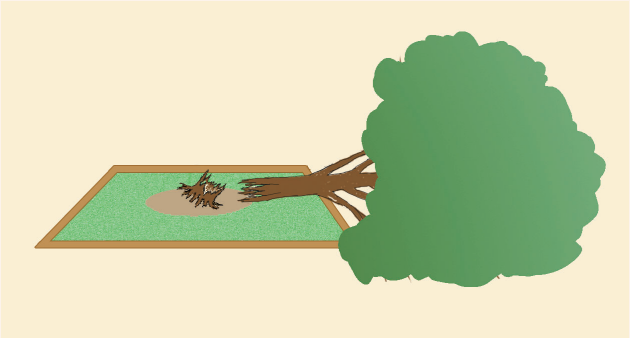


【通常の根系根鉢採取】　【根系根鉢採取が難しい場合】

失敗原因　その２

移植樹木自体の被害部の問題

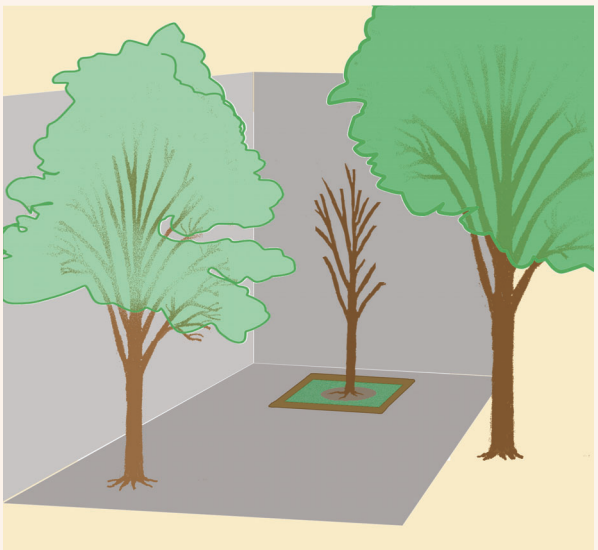
移植樹木自体が現時点で樹勢不良である場合、移植工事により樹勢が不良となる可能性があります。また幹や根元に大きな腐朽があると、樹木移動時や移動後の強風で折れてしまう可能性があります。



失敗原因　その３

移植先の環境の問題

移植工事の施工が完璧であっても、移植先の土壌状態や日照、温度環境が樹木の生育に適さない場合、枯損する可能性が大きくなります。
移植先の植栽基盤が狭小であったり、工事による土壌の締め固めがある場合は根系が発達できず樹勢不良となる場合もあります。



失敗原因　その４

移植先の管理の問題

移植工事は多量の根系を失う作業でもあります。移植後数年間は乾燥期間の潅水管理は欠かせません。

移植工事を成功させるには、上記の内容について事前に調査検討を行うことで移植を行うべき樹木を選定することが重要です。
建て替え工事計画時における既存樹木の移植適性度診断をお勧めします。

樹木の倒木危険性の判断や処置にお困りの場合は、
株式会社エコルまでご相談ください。
https://www.ecol.biz/

ECOL
みどりをつなぐ みどりでつなぐ